

◆日本薬剤師会 薬剤師賠償責任保険 保険金支払状況一覧（2018年4月～2020年9月発生分 抜粋）

No.	事故概要	事故内容	支払保険金額
1	店内に敷いてあった濡れたマットで客が滑って転倒。大腿骨骨折し、手術後リハビリ中。杖が必要になった。	施設賠	12,129,886
2	誤投薬。テグレトールを服用すべきところをテオドールを処方。ふらつき症状が出て転倒、左ほお骨骨折。	種類誤り	2,720,087
3	鎮痛剤リリカを誤って3倍投与してしまった。その後間質性肺炎を発症して入院中、その後死亡。	分量誤り	1,539,433
4	業務委託契約をしている介護老健施設に、依頼と異なった薬を届けた為、服用した施設入所者が入院	種類誤り	1,025,248
5	ニュープロパッチ4.5mgのところ、13.5mg規格のものを監査・投薬した	分量誤り	766,510
6	アレピチアンの誤調剤（過多）を原因として患者が体調不良となり、入院治療が施行されたもの。	分量誤り	700,000
7	薬剤師が処方箋の分量を誤り、患者にイクスタンジを過剰投与してしまい、投与された患者が入院した。	分量誤り	642,380
8	処方箋を持参して来た顧客に調剤したところ、規格を誤った薬を調剤し、（相）が体調を崩す	種類誤り	609,236
9	調剤し販売した薬包に異物が混入していた。	異物混入	605,000
10	薬の処方誤りの為、賠償となる。	種類誤り	595,605
11	社員が投薬ミスをしてしまった。患者様が体調不良で入院。	その他	546,338
12	市道と薬局の境目にある凹みにオートバイのタイヤをひっかけて転倒した	施設賠	543,427
13	調剤監査不備	その他	541,818
14	分包機に残っていた薬剤が他の患者の調剤時に混入し意識障害が発生する	異物混入	538,250
15	薬の処方を行った。	その他	500,000
16	小児の薬を取り違えて渡して健康被害発生。代理人弁護士を通じ損害賠償請求される	種類誤り	486,000
17	害者にペニシリンアレルギーがあるのに気付かず処方箋通り処方しショック症状が発症した	確認漏れ	461,602
18	誤調剤により患者が体調を悪化させたもの。	その他	428,000
19	調剤過誤での入院。	その他	396,250
20	調剤事故。1／9に投薬された薬を飲み続けていたところ不調が生じた。	その他	381,990
21	強風で薬局で設置の看板が飛びお客様の自動車に傷	施設賠	373,756
22	アリジンカプセル10mg処方の際、誤って20mgを処方したため入院長期化	分量誤り	343,280
23	調剤ミスにより、お客様が入院。	その他	303,560
24	調剤誤りにより相手が入院。	その他	287,584
25	処方箋の分量を間違えて渡したことにより患者が入院	分量誤り	271,538
26	薬剤師賠／誤調剤によりタクロリムス濃度等が異常になったもの。	分量誤り	270,000
27	ワーファリンを誤って1.5mg・1.5錠で処方してしまい、患者の血液数値に異常が発生し入院。	分量誤り	253,620
28	掃除中に2階の網戸が落下、下の駐車場に止めてあった職員の車両2台を傷つけた。	施設賠	231,898
29	処方薬の種類を間違えて患者に渡してしまい、それを服用した患者さまの病状が悪化した。	種類誤り	219,870
30	店舗の外に設置してあるついでに、風で煽られて倒れ、駐車してあった患者の車後方バンパーとドアに傷	施設賠	205,127
31	来店客のお子様が窓を開けた際に窓前に止めてあった自転車が転倒し来店客の車両に接触キズ付けた	施設賠	204,618
32	薬剤師賠／ドパコールの誤調剤／処方の3倍量を調剤し、患者がこれを2か月間服用した。	分量誤り	200,000
33	薬剤のランドセン錠0.5mg1日2錠を2mgと間違えて選択。処方された患者がその後入院した。	分量誤り	198,020
34	店の前の歩道に設置の看板が倒れ、客の車に当たった	施設賠	169,856
35	病院の誤った処方箋を、薬局が患者に提供し、具合が悪くなったもの。	その他	168,055
36	5月10日にシュアポスト0.25mgを処方すべきところを0.5mgを処方。服薬後、低血糖にて入院	分量誤り	145,927
37	調剤の分量誤り	分量誤り	139,300
38	問診票のアレルギー欄を見落とし、禁忌のボノサップを調剤してしまい、患者にアレルギー反応が出てしまう。	確認漏れ	131,065
39	誤った処方箋を提供したことで患者に副作用が生じたもの。	その他	130,356
40	薬局の駐車場の誘導看板が風であおられて、プラパネルが飛んで走行していた車を損傷させた	施設賠	119,551
41	受付前（処方箋を出すところ）で84才男性が次の患者が自動ドアを開けた際に腰を強打した。	施設賠	116,410
42	調剤過誤により相手方が体調不良となり入院中との申し出を受ける	その他	115,166
43	駐車場案内看板が強風で外れ駐車車両を破損	施設賠	109,000
44	お薬手帳のアレルギーを見落として処方箋の通り薬を出した為、（相）がアナフィラキシーショックで入院	確認漏れ	108,000
45	薬剤師賠（施設賠）／薬剤師が自転車にて駐車中の自動車に傷損を与えたもの。	施設賠	104,760
46	処方箋誤り	その他	91,358
47	医療過誤。投薬ミス。	その他	81,820
48	処方した薬に異物が混入しており患者の両親からクレームが入ったもの。	異物混入	77,000
49	過去に抗生剤で副作用が出た方に、同系統の抗生剤を処方し副作用が出たもの。	確認漏れ	60,900
50	駐車場近くに置いていた植木鉢が風で倒れ来局患者の自動車にあたり自動車を損傷	施設賠	58,990
51	強風時に薬局の看板を屋外に出したまま固定していなかったところ、強風で飛ばされ隣の会社の車を損傷した	施設賠	55,587
52	初回問診時にアレルギー情報を確認しておきながら、アレルギー成分が含有している薬剤を処方し反応出現	確認漏れ	51,599
53	薬剤師賠償：誤処方（過剰投与）のため足の震えが生じ通院加療が必要となったもの	分量誤り	50,000
54	説明が誤っており過剰投与となり、患者が体調不良となった	説明誤り	44,770
55	駐車場に置いてある機が強風で倒れて、駐車中の車に当たりキズついた。	施設賠	44,280
56	患者様へ薬の量を間違えて処方してしまい、一日休まれた分の損害を請求されている	分量誤り	41,821
57	医師に対して疑義照会を行い、服用方法を分1朝食後から分3毎食後へ訂正すべきものを怠り、患者に脱力感	その他	40,000
58	薬袋への入れ間違いにより、薬を飲み間違えて自動車事故を起こした 車両修理費の請求	施設賠	35,424
59	車を無人駐車中、落雪により損傷した。けがなし。	施設賠	35,000
60	処方箋で医薬品を取り違えて処方し、てんかん発作がでたもの	種類誤り	34,570
61	誤って違う薬剤を処方してしまったもの。	種類誤り	34,290
62	薬剤師賠／薬局の店舗前に設置していた滑り止めマットが滑り、患者が転倒し下肢を打撲したものの。	施設賠	32,270
63	処方ミスで患者が体調不良。	その他	30,000
64	結節性硬化症の患者への過剰投与	分量誤り	30,000

65	薬局で薬を間違えて患者に渡した。睡眠導入剤を渡した	渡し誤り	26,650
66	アデホスコーワ腸溶錠20mg6Tのところ、誤って60mg6T処方した為、頭痛で通院・検査を受ける。	分量誤り	19,540
67	薬局敷地内の階段にて転倒。肩を骨折した。	施設賠	18,022
68	待合室のストーブのコードに患者さんが足を引っ掛けて転倒した。	施設賠	13,330
69	入口にある鉄製の手すりがめくれて患者様が触ったため、手を切ってしまった。	施設賠	12,200
70	薬品を取り違え、患者が転倒し、受傷した。	渡し誤り	11,000
71	一日3包のところ1包で処方しそのままの飲んでしまった。体調不良により通院1日	分量誤り	10,910
72	処方したバイアスピリンを渡すのを失念(ミス)。健康被害無し。見舞金の請求。	渡し誤り	10,000
73	調剤過誤	その他	10,000
74	経口血糖降下剤を処方する際に誤って用量の少ない錠剤を処方した	分量誤り	10,000
75	プレドニゾン1mgをプレドニン5mgで投薬したが、健康被害なし。	種類誤り	10,000
76	ガン患者に誤った(他の)薬剤を渡したもの	種類誤り	10,000
77	誤った調合をした薬を処方した。	種類誤り	5,508
78	リウマチの薬を処方箋よりも多く調剤、投薬してしまい、相手が食欲不振になった。	分量誤り	4,916
79	薬剤を購入し、自店に戻った際に自転車を倒し、近くに駐輪中の自転車のサドルを破損させたもの。	施設賠	4,590
80	2週間分処方すべきを1週間分の処方のみしか行わなかった。患者は検査で病院受診、別薬局で追加処方。	事務ミス	2,650
81	薬剤師賠／誤調剤により、服用した患者に発疹等を発症。医療機関を受診、検査するに至ったもの。	種類誤り	2,360